資料

令和元年度　団体運営補助金の見直しについて

令和元年11月

いちき串木野市

令和元年度団体運営補助金の見直しの結果

今後の人口減少と少子高齢化の進行等により、厳しい財政状況が見込まれることから、補助金の見直しを行います。

令和元年度は、団体運営補助金につきまして、見直し対象とした57団体の実績報告書及び決算資料等を精査し、57補助金中54補助金、全体で94.7%の補助金について削減することといたしました。
考え方としては、各団体の運営に大きな支障が生じないと考えられる3%の削減を基本とし、決算において、市補助金を超える繰越額がある団体、多額の基金を保有する団体については、10%の削減としております。その他、これ以外の率で補助金の削減を行うもの、廃止するもの、現状のままとしたものがあります。

見直しの結果、令和2年度から4年度における影響額としましては、年間699万4千円で、引下げ率は6.1%となりました。補助金の財源は、広く市民からの税金等で賄われている公金であることから、今後も補助金の適正な交付に努めてまいります。

区分	件　数	備考	補助金額　（単位：千円）		
			R元年度（A）	R2～4年度（B）	影響額（A－B）
3%削減	32		68,212	66,144	△ 2,068
10%削減	14		36,922	33,240	△ 3,682
その他削減	4	No.6,30,37,57	2,961	2,482	△ 479
廃止	4	No.17,24,36,39	765	0	△ 765
現状のまま	3	No.25,26,28	5,227	5,227	0
計	57		114,087	107,093	△ 6,994

引下げ率：△6,994÷114,087×100＝△6.1%

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
1 ▲	いちき串木野市国際交流協会補助金（政策課）	千円 2,500	国際交流活動を推進し、諸外国との友好親善に寄与するとともに、国際性豊かな人材育成を図るために助成するもの 主な事業はイングリッシュキャンプ、姉妹都市協会運営補助等 H30年度決算　支出総額3,433千円うち市補助3,350千円　繰越額750千円 繰越額　(H27)273千円　(H28)505千円　(H29)589千円　(H30)750千円 補助金（H27)1,274千円 (H28)2,150千円 (H29)1,350千円 (H30)3,350千円 外国人居住者の増加に伴い協会の役割が増加している	３％削減する	千円 2,425	千円 △ 75
2 ▲	いちき串木野地区交通安全協会補助金（まちづくり防災課）	630	交通事故を防止し交通の安全と円滑を図るための補助 主な事業は交通安全活動、セーフティ・チャレンジ交通安全コンテスト、優良運転者の表彰等 H30年度決算　支出総額11,374千円うち市補助630千円　繰越額3,977千円 繰越額　(H28)4,588千円　(H29)4,736千円　(H30)3,977千円 会　費　(H28)5,099千円　(H29)4,424千円　(H30)3,914千円 加入者数　(H28)2,841人　(H29)2,402人　(H30)2,151人 基金残高　(H28)4,860千円　(H29)3,361千円　(H30)3,361千円 H30年度末借入金残高1,050千円（H37まで毎年150千円償還） 交通安全活動により交通事故発生件数は減少している 会員減少に伴い会費収入が減少傾向にある	基金及び繰越額が多いため補助金を3年間10％63,000円削減する	567	△ 63
3 ▲	いちき串木野市交通安全母の会育成補助金（まちづくり防災課）	338	交通安全母の会が実施する街頭指導、旗の波活動等に対する補助 会則及び会費がない H30年度決算　支出総額463千円うち市補助338千円　繰越額0千円 繰越額　(H28)0千円　(H29)0千円　(H30)0千円 交通安全協会助成金　(H28)80,000円　(H29)95,000円　(H30)95,000円 交通安全活動により交通事故発生件数は減少している	３％削減する 会則を定める	327	△ 11
4 ▲	いちき串木野市地区まちづくり協議会運営補助金（まちづくり防災課）	29,140	市民と行政による共生・協働のまちづくりを推進するための16地区まちづくり協議会及び143自治公民館に対する補助 主な事業は情報交換、福祉活動、生きがいづくり、健康づくり等 H30年度決算　支出総額94,181千円うち市補助29,102千円　繰越額8,286千円 繰越額　(H29)7,455千円　(H30)8,286千円 市民と行政による共生・協働のまちづくりを推進するために必要である	３％削減する	28,265	△ 875

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　　（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
5 ▲	いちき串木野市まちづくり連絡協議会運営補助金（まちづくり防災課）	213	16地区のまちづくり協議会が組織する「市まちづくり連絡協議会」に対する運営補助 主な事業は定例会、研修会等 H30年度決算　支出総額602千円うち市補助213千円　繰越額249千円 繰越額　(H28)169千円　(H29)237千円　(H30)249千円 市民と行政による共生・協働のまちづくりを推進するために必要である	繰越額が多いため補助金を3年間10%21,000円削減する	192	△ 21
6 ▲	市来たばこ販売協同組合補助金（税務課）	378	組合の環境美化活動等に対する運営補助 H30年度決算　支出総額3,774千円うち市補助402千円　繰越額37千円 繰越額　(H28)17千円　(H29)46千円　(H30)37千円 補助算定方式が日置市と異なる（日置市は補助金を毎年5%削減し、本市は販売本数1000本当たり12.3円補助としているが、H28～R元迄の平均削減率が日置市は5%、本市は2.64%となっている） 補助金額　(H28)　(H29)　(H30)　(H31) 本市　410千円　405千円　402千円　378千円 日置市　513千円　487千円　462千円　439千円	日置市に合わせ補助金を毎年5%削減する 令和3年度を目処に補助金を廃止する	359	△ 19
7 ▲	いちき串木野市社会福祉協議会補助金（福祉課）	19,702	協議会の活動及び運営経費に対する補助 主な事業はふれあいのまちづくり、共同募金、訪問給食サービス等 法人単位資金収支計画より H30年度決算　支出総額（支出計）157,102千円うち市補助19,702千円 繰越額（当期末支払資金残高）23,509千円 繰越額　(H27)22,374千円（H28)25,343千円（H29)26,100千円（H30)23,509千円 貸借対照表より ○主な資産　(H31.3.31現在) 純資産　221,482,198円 現金預金　19,170,770円 財政調整積立　30,000,000円 施設整備積立　54,870,292円 介護保険事業積立　44,121,200円 森福祉基金(利子運用)　28,800,000円 ふれあい福祉積立(利子運用)　25,153,000円 自己資本比率が高い （純資産）221,482,198円÷（総資産）260,107,738円×100＝85.15%（※）	多額の基金残高及び現金預金があり、自己資本比率がかなり高いため補助金を3年間10%1,970,000円削減する （※）一般的に40%以上なら倒産しにくい、50%以上は超優良企業といわれる	17,732	△ 1,970

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止

（千円）

№.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
8 ▲	日置保護区保護司会いちき串木野支部補助金（福祉課）	122	保護司会の活動及び運営経費に対する補助 主な事業はのぼり旗掲揚等の啓発活動 H30年度決算　支出総額296千円うち市補助122千円　繰越額36千円 繰越額　　(H28)30千円　(H29)27千円　(H30)36千円 犯罪の低年齢化など犯罪防止活動は重要である	３％削減する	118	△ 4
9 ▲	いちき串木野市民生委員児童委員協議会補助金（福祉課）	16,804	生活困窮者の早期発見、高齢者の実態把握、青少年の健全育成などの福祉活動を行う協議会に対する補助 主な事業は定例会による情報共有、独居老人訪問等 H26年度に委員1人当たり市補助金132,000円を156,000円に18.2%増額 H30年度決算　支出総額24,312千円うち市補助16,645千円　繰越額1,334千円 繰越額　　(H28)2,344千円　(H29)1,474千円　(H30)1,334千円 高齢者の見守り、児童虐待、生活困窮等、地域のニーズは高まっている	３％削減する	16,299	△ 505
10 ▲	いちき串木野市身体障害者協会運営補助金（福祉課）	275	会員相互の親睦及び生活の向上を図ることを目的とする身体障害者協会の活動及び運営に対する補助 主な事業は相談会、運動会、グラウンドゴルフ大会等 会員が減少傾向にある　(H28)162人　(H29)154人　(H30)137人 身体障害者手帳所持者数　(H28)1,680人　(H29)1,661人　(H30)1,689人 H30年度決算　支出総額670千円うち市補助275千円　繰越額394千円 繰越額　(H28)244千円　(H29)338千円　(H30)394千円 障害者にとって貴重な社会参加の場となっている	繰越額が多いため補助金を3年間10%27,000円削減する	248	△ 27
11 ▲	手話サークル活動補助金（福祉課）	40	手話サークルの活動及び運営に対する補助 主な事業は手話通訳者の技術向上研修や手話利用者の養成 H30年度決算　支出総額106千円うち市補助40千円　繰越額0千円 繰越額　　(H28)0千円　(H29)0千円　(H30)0千円 手話通訳登録者は3名と少なく手話人口の拡大が急務である	３％削減する	38	△ 2

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
12 ▲	シルバー人材センター運営費補助金（福祉課）	12,600	高齢者の就業確保のためシルバー人材センターが短期的又は臨時的な仕事を把握し提供する事業運営に対する補助 正味財産増減計算書より H30年度決算　支出総額（経常費用計）105,335千円うち市補助12,600千円 繰越額（正味財産期末残高）25,019千円 繰越額（H27)23,848千円　(H28)24,479千円　(H29)24,570千円　(H30)25,019千円 貸借対照表より（H31.3.31現在） 現金預金　11,021,647円 減価償却引当資産　5,134,887円 財政運営資金積立資産　8,000,000円 自己j資本比率が高い （正味財産）25,019,143円÷（総資産）31,428,281円×100＝79.61%（※） 国と市の補助額に差がある(市補助12,600,000円、受取連合交付金10,239,000円) 高齢者を取り巻く社会環境の変化、生活環境や考え方の多様化等により加入会員が減少している　(H29.3.31)215人　(H30.3.31)210人　(H31.3.31)202人	基金が多く、自己資本比率がかなり高いため補助金を3年間10％1,260,000円削減する （※）一般的に40%以上なら倒産しにくい、50%以上は超優良企業といわれる	11,340	△ 1,260
13 ▲	高齢者クラブ運営補助金（単位クラブ）（福祉課）	2,512	高齢者福祉の向上に資するための高齢者クラブの活動及び運営に対する補助 52単位クラブ 主な事業は、教養向上、健康増進、レクリエーション活動等 H30年度決算　支出総額10,883千円うち市補助2,535千円　繰越額3,636千円 繰越額　(H29)3,874千円　(H30)3,636千円 高齢者の社会参加、健康増進の場の提供が必要である	3%削減する	2,430	△ 82
14 ▲	高齢者クラブ連合会運営補助金（福祉課）	939	高齢者クラブ連合会の活動及び運営に対する補助 主な事業は高齢者に対する各種セミナー、スポーツ大会、研修会等の開催 H30年度決算　支出総額2,414千円うち市補助942千円　繰越額402千円 繰越額　(H28)466千円　(H29)490千円　(H30)402千円 基金　213千円（H31.1.24現在） 会則がない 高齢者の社会参加、健康増進の場の提供が必要である	3％削減する 会則を定める	910	△ 29

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　（千円）

№.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
15 ▲	いちき串木野市保育連絡協議会補助金（福祉課）	209	保育所相互の連絡連携を取り、併せて保育の研修に務めることにより保育所資質の向上に寄与する協議会の活動及び運営に対する補助 主な事業は園長研修、職員研修等 H30年度決算　支出総額307千円うち市補助209千円　繰越額272千円 繰越額　(H27)5千円　(H28)172千円　(H29)191千円　(H30)272千円 H21年度以降、行事費の実績がない 毎年、保育に係る国の制度改正等があり意欲的に取り組んでいる	繰越額が多いため補助金を3年間10%20,000円削減する	189	△ 20
16 ▲	いちき串木野市食生活改善推進員連絡協議会補助金（健康増進課）	456	地区及び公民館等で実施する各種栄養教室の開催経費等に対する補助 H30年度は735回開催し延16,322人の参加があり、望ましい食生活等の普及啓発に努めた H30年度決算　支出総額625千円うち市補助451千円　繰越額27千円 繰越額　(H27)23千円　(H28)31千円　(H29)24円　(H30)27千円 本市の医療費が高い現状から食生活改善の推進が必要である	３%削減する 会則を定める	442	△ 14
17 ●	農林技術協会活動補助金（農政課）	369	農林業の振興を図るため農林技術の指導体制を整備し、資質の向上及び関係団体との相互連携を促進することを目的とする協会への補助 主な事業は品評会、視察研修、新会員用ジャンパー等 活動が少ない H30年度決算　支出総額758千円うち市補助369千円　繰越額809千円 繰越額　(H27)356千円　(H28)402千円　(H29)782千円　(H30)809千円 JA補助金158,000円 会員数が減少している　(H27)48人　(H28)47人　(H29)20人　(H30)43人	令和元年度は活動が少なく繰越額が多いため補助をしない 補助金を廃止する 補助金ではなく通常の予算で対応する	0	△ 369
18 ▲	生活研究グループ推進活動補助金（農政課）	270	特産品開発や、食の伝承活動等により農漁業の振興と地域の活性化を図るグループ活動に対する補助 主な事業は食の伝承講座及びきらり講座の開催、ふれあいフェスタ及びかんむりだけ山市への出店等 H30年度決算　支出総額712千円うち市補助270千円　繰越額27千円 繰越額　(H27)65千円　(H28)74千円　(H29)47千円　(H30)27千円 食育、地産地消、食の伝承活動など大きな貢献がある	３%削減する	261	△ 9

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　　（千円）

№.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
19 ▲	認定農業者会活動補助金（農政課）	270	認定農業者間の親睦を深め、農業経営の改善を図るための補助 主な事業は農業簿記研修会、運営委員会、視察研修等 H30年度決算　支出総額407千円うち市補助270千円　繰越額428千円 繰越額　（H27)244千円　(H28)236千円　(H29)286千円　(H30)428千円 農業振興及び担い手確保のため支援すべきである	繰越額が多いため補助金を3年間10%27,000円削減する	243	△ 27
20 ▲	JA花き部会等活動補助金（農政課）	65	花き部会の生産向上及び経営の安定を図るための部会活動に対する補助 主な事業は視察研修 H30年度決算　支出総額118千円うち市補助65千円　繰越額43千円 繰越額　（H27)60千円　(H28)13千円　(H29)32千円　(H30)43千円 会費収入24,000円を超える役員手当31,182円がある 決算書の繰越額に差異がある	市補助金が役員手当に充てられているため補助金を3年間10% 6,000円削減する 会計処理の指導をする	59	△ 6
21 ▲	JA青年部活動補助金（農政課）	45	JA青年部に対する活動補助 主な事業は視察研修 H30年度決算　支出総額617千円うち市補助45千円　繰越額49千円 繰越額　（H27)46千円　(H28)144千円　(H29)75千円　(H30)49千円 決算書の繰越額に差異がある	繰越額が多いため補助金を3年間10%4,000円削減する 会計処理の指導をする	41	△ 4
22 ▲	JA畜産部会活動補助金（農政課）	65	畜産経営者の生産向上及び経営安定に資する活動補助 主な事業は視察研修 H30年度決算　支出総額426千円うち市補助65千円　繰越額56千円 繰越額　（H27)48千円　(H28)71千円　(H29)54千円　(H30)56千円 決算書の繰越額に差異がある	３％削減する 会計処理の指導をする	63	△ 2
23 ▲	グリーンツーリズム協議会運営補助金（農政課）	200	本市の農林水産業、歴史自然などを活かした滞在・体験型都市農村交流を進める協議会に対する活動補助 主な経費は受入体験事業、事務局費等 H27年度に市補助金100,000円を特産品補助分として200,000円に増額 H30年度決算　支出総額3,078千円うち市補助200千円　繰越額29千円 繰越額　（H27)104千円　(H28)25千円　(H29)50千円　(H30)29千円 会費収入がない（市補助金と受入体験料で運営している）	３％削減する 受入体験料を会費と見なす	194	△ 6

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止

（千円）

№.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
24 ●	担い手育成総合支援協議会補助金（農政課）	50	青年等就農計画及び認定農業者経営改善計画を審査する協議会に対する補助 H30年度は会議を開催したが、支出はなかった H29年度の主な事業は審査、研修視察、パンフレット作製等 H30年度決算　支出総額0円うち市補助0円　繰越額55千円 繰越額　(H27)59千円　(H28)45千円　(H29)55千円　(H30)55千円 国の補助事業であったが、現在は単独事業	補助金ではなく通常の予算で対応する 補助金を廃止する	0	△ 50
25	農業再生協議会運営補助金（農政課）	3,188	農家の経営所得安定及び戦略作物の生産振興、米の需給調整等を実施する農業再生協議会に対する国県の補助 主な経費は、臨時職員賃金、システム保守、振込手数料等 H30年度決算　支出総額3,450千円うち市補助3,450千円　繰越額0千円 （財源内訳　国3,255千円、県172千円、市23千円） 繰越額　(H28)0千円　(H29)0千円　(H30)0千円	国県の補助制度によるもので現状のまま	3,188	0
26	いちき串木野市土地改良区運営補助金（農政課）	1,952	川北・川上・羽島・生冠・川南の土地改良区の清算事務を行う事務職員の人件費補助 R元年度から市補助金3,467千円を1,952千円に減額 H30年度決算　支出総額14,565千円うち市補助3,467千円 繰越額8,150千円うち清算金7,041千円 繰越額 (H27)18,620千円 (H28)21,083千円 (H29)17,722千円 (H30)8,150千円	人件費補助のため現状のままとする	1,952	0
27 ▲	猟友会活動振興補助金（農政課）	225	猟友会活動に係る活動補助 主な事業は射撃研修等の研修及び有害捕獲報償費の弾丸代等 H30年度決算　支出総額1,434千円うち市補助225千円 繰越額618千円【これは会費的性格を持つ捕獲事業報奨金5%(581千円)の徴収によるもの】 繰越額　(H27)656千円　(H28)559千円　(H29)444千円　(H30)618千円 会費収入221,000円を超える役員手当287,000円がある 深刻化している農作物の鳥獣被害対策のために必要である	３％削減する	218	△ 7
28	有害鳥獣捕獲対策協議会運営補助金（農政課）	87	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業に係る振込手数料に対する補助 H30年度決算　支出総額36千円うち市補助36千円　繰越額0円 繰越額　(H28)0千円　(H29)0千円　(H30)0千円 国庫補助事業として必要である	国県の補助制度によるもので現状のまま	87	0

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
29 ▲	いちき串木野市漁業後継者協議会補助金（水産商工課）	1,000	まぐろ漁業後継者を確保するための水産高校及び海員学校訪問等の活動補助 主な活動は市内小中学校でのまぐろ出前授業、学校訪問求人活動、優良まぐろ漁船員表彰等 H30年度決算　支出総額1,737千円うち市補助1,000千円　繰越額465千円 繰越額　(H27)1,438千円　(H28)1,563千円　(H29)726千円　(H30)465千円 水産高校等を学校訪問し船員確保に務めているが、厳しい状況である	３％削減する ※事業費補助として再検討する	970	△ 30
30 ▲	いちき串木野市母港基地化推進協議会補助金（水産商工課）	600	まぐろ漁業の母港基地化により水産業の振興を図るための協議会の活動補助 主な事業は出航祝い品、企業訪問等 H27年度に市補助金30万円を60万円に増額 H30年度決算　支出総額256千円うち市補助600千円　繰越額1,026千円 繰越額　(H27)461千円　(H28)930千円　(H29)572千円　(H30)1,026千円 協議会の支出を上回って補助をしている H30年度は日程調整ができず誘致活動ができなかった	過去4年間で379,731円相当の市補助金が使われておらず、1年平均218,731円の収支差引額（繰越額）があるため補助金を3年間450千円とする	450	△ 150
31 ▲	市来商工会総合振興事業補助金（水産商工課）	2,800	市来地域内の商工業の総合的な改善発展を図り、地域経済に寄与する商工会の活動補助 主な事業は各店舗の経営改善及び金融対策並びに商工観光事業など H25年度に市補助金260万円を280万円に増額 H30年度決算　支出総額10,191千円うち市補助2,800千円　繰越額2,004千円 繰越額　(H27)1,797千円 (H28)2,289千円 (H29)2,133千円 (H30)2,004千円 商工業は消費の低迷や人手不足など厳しい状況にあり、引き続き支援が必要である	３％削減する	2,716	△ 84
32 ▲	いちき串木野商工会議所運営補助金（水産商工課）	2,200	商工業者の経営指導及び各種説明会等による支援活動を行うことにより商工業者の経営安定及び商店街の活性化を図ることを目的とする補助 H23年度に市補助金200万円を220万円に増額 H30年度決算　支出総額34,147千円うち市補助2,200千円　繰越額21,903千円 繰越額(H27)20,572千円 (H28)18,719千円 (H29)21,594千円 (H30)21,903千円 H31.3.31現在基金残高 　財政調整積立資産　62,157,634円 　会館建設積立金特別会計預金　20,835円 　花火大会運営積立金　2,024,363円 　退職給与積立金特別会計預金　8,107,540円 　特定退職金共済制度保険料積立金192,479,694円＊職員の退職金共済制度保険料 予備費が多い（H30年度予算総額56,038千円のうち予備費20,842千円）	基金及び繰越額が多いため補助金を3年間10％220,000円削減する	1,980	△ 220

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　　（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
33 ▲	串木野シール会運営補助金（水産商工課）	500	シールを活用した商店街の売り上げ向上により各店舗の経営安定を図るシール会運営経費に対する補助 主な経費はシール回収費、イベント費、事務費等 H30年度決算　支出総額8,954千円うち市補助500千円　繰越額△142千円 繰越額　(H28)△1,166千円　(H29)53千円　(H30)△142千円 主な収入はシール発行収入であるが、会員の減少に伴いシール発行収入が減少傾向にある 会員数(4月末現在)　(H29)51人　(H30)49人　(R元)46人 シール収入(年度末)　(H28)8,589千円　(H29)7,996千円　(H30)7,121千円 貸借対照表 科　目　H29.3.31　H30.31　H31.3.31 流動資産　13,863,250円　14,657,930円　14,599,802円 流動負債　586,700円　628,100円　712,000円 固定負債　13,100,000円　13,800,000円　13,800,000円 次期繰越剰余金　176,550円　229,830円　87,802円	３%削減する	485	△ 15
34 ▲	市来地域まちづくり推進懇話会（観光交流課）	2,100	市来地域の観光振興を目指す懇話会に対する運営補助 主な事業はサマーフェスタ、ふれあいフェスタ、さくら祭り等の支援 H28年度に市補助金200万円を210万円に増額 H30年度決算　支出総額2,239千円うち市補助2,100千円　繰越額149千円 繰越額　(H27)275千円 (H28)376千円 (H29)205千円 (H30)149千円 イベントにより多くの交流人口を生んでいる	３%削減する ＊イベント補助で再検討する	2,037	△ 63
35 ▲	いちき串木野市観光特産品協会運営補助金（観光交流課）	1,500	本市の観光PR及び特産品振興のための活動を行う協会に対する補助 主な経費は観光PR、イベント、出店小間料、物産展参加費等 H28年度に市補助金115万円を150万円に増額 H30年度決算　支出総額10,519千円うち市補助1,500千円　繰越額1,000千円 繰越額　(H27)2,320千円 (H28)1,816千円 (H29)1,412千円 (H30)1,000千円 H30年度末株式会社設立準備金残高　600,000円 団体運営補助と事業費補助が区分されていない 事業内容が総合観光案内所と重複しているところがある	３%削減する ＊団体運営補助と事業費補助を区分する	1,455	△ 45

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　　（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
36 ●	鹿児島いちき串木野観光物産センター運営補助金（NPO法人）（観光交流課）	291	観光物産センターの観光振興活動に対する補助 H30年度決算　支出総額291千円うち市補助291千円　繰越額0円 繰越額　(H29)0千円　(H30)0千円 運営事業、特産品通信販売事業、物販（収益）事業、不動産貸付業、業務委託事業等の会計があるが、運営事業会計は市補助金のみである 運営事業の内容は手数料、負担金、租税公課である 手数料(168,000円)は税理士及び社会保険労務士の報酬 負担金(52,000円)は県観光連盟、市観光特産品協会、公民館費の会費等 租税公課(71,000円)は法人県民税及び法人市民税 ※参考　特産品通信販売事業で478,582円、物販（収益）事業で914,788円の収益がある	補助対象経費に補助の必要性が見られない 補助金を廃止する	0	△ 291
37 ▲	私立幼稚園教育助成金（教育委員会総務課）	270	幼児の保育・教育の充実を図るため会員が連携して協会が実施する活動に対する補助 H30年度決算　支出総額279千円うち市補助270千円　繰越額0円 繰越額　(H27)0千円　(H28)0千円　(H29)0千円　(H30)0千円 協会としての活動がない（各幼稚園に対する補助になっている） H30年度の会費収入がない 市補助金は3園に分配されている R元年度から会費を減額（園会費年40,000円を15,000円に引下げ、職員会費月600円を廃止した） 会費収入　(H28)264,000円　(H29)264,000円　(H30)0円　(R元)45,000円	会費を大幅に減額したため会費の45,000円と同額補助とする 協会としての事業がなければ補助せず、その状態が3年継続すれば補助を廃止する	45	△ 225
38 ▲	市地域女性団体連絡協議会運営補助金（社会教育課）	453	女性団体が連携して明るく住みよい地域社会作りを目的とする協議会に対する運営補助 主な事業は母親セミナー、乳幼児を持つ母親学級、一人金婚を祝う会、バザー等 平成30年度決算　支出総額4,062千円うち市補助453　繰越額678千円 繰越額　(H27)688千円 (H28)690千円 (H29)672千円 (H30)678千円 会員が減少傾向にある (H28)4,725人（H29)4,210人（H30)3,872人（H31)3,300人	繰越額が多いため補助金を3年間10%45,000円削減する	408	△ 45

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
39 ●	市各種女性団体連絡協議会運営補助金（社会教育課）	55	女性団体懇話会及びバザーの打ち合わせのための協議会 H30年度決算　支出総額57千円うち市補助55千円　繰越額0円 繰越額　(H29)0千円　(H30)0千円 会則及び会費収入がない 会計及び活動実績が不明である 実質的運営は社会教育課が行っている 各種団体で連携した取り組みがみえない	補助金ではなく通常の予算で対応する 補助金を廃止する	0	△ 55
40 ▲	校外生活指導連絡協議会運営補助金（社会教育課）	110	児童の健全な育成を図るため、市PTA連絡協議会と市生活指導研究協議会が連携し、校外における生活指導の充実を図るための協議会に対する運営補助 主な事業は街頭補導及び研修会 H30年度決算　支出総額310千円うち市補助110千円　繰越額13千円 繰越額　(H27)27千円 (H28)29千円 (H29)30千円 (H30)13千円 地域の安全と青少年非行等の抑止力となっている	３％削減する	106	△ 4
41 ▲	生活学校運営補助金（社会教育課）	50	日常の不便さや疑問を解決し豊かで安全な生活をめざす生活学校の運営に対する補助 主な事業は地産地消活用研修、ゴキブリ団子作り、小物つくり等 H30年度決算　支出総額101千円うち市補助50千円　繰越額37千円 繰越額　(H27)49千円 (H28)51千円 (H29)41千円 (H30)37千円 日常の消費生活上の問題や環境美化活動を通して地域に貢献している	３％削減する	48	△ 2
42 ▲	PTA連絡協議会運営補助金（社会教育課）	112	市内PTAの連絡調整を図りPTA活動を推進し、児童・生徒の健全育成を目的とする協議会に対する補助 主な事業は情報交換会、研修会、ミニバレーボール大会、市長・教育長と語る会等 H30年度に会費120円を170円に引上げ（影響額129,250円） H30年度決算　支出総額929千円うち市補助112千円　繰越額195千円 繰越額　(H27)368千円 (H28)496千円 (H29)245千円 (H30)195千円 児童生徒数　(H28)2,666人　(H29)2,624人　(H30)2,585人 会費収入　(H28)320千円　(H29)315千円　(H30)439千円 児童生徒数減少に伴い会費を引き上げた	３％削減する	108	△ 4

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止

（千円）

№.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
43 ▲	市婦人学級運営補助金（社会教育課）	76	生涯学習の一環として各地区で実施する婦人学級活動に対する補助 会則なし H30年度決算　支出総額252千円うち市補助76千円　繰越額0円 繰越額　(H28)0千円 (H29)0千円 (H30)0千円 市地域女性団体連絡協議会の中で事業を実施しており、収支が不明である	３％削減する 会則及び予算、事業計画を定める	73	△ 3
44 ▲	子ども会育成連絡協議会運営補助金（社会教育課）	331	単位・地区こども会活動を推進し、子ども会活動の充実を図る協議会に対する運営補助 主な事業は市こども会大会、合同子ども会、ジュニア・リーダー研修、アドベンチャー事業等 H30年度決算　支出総額1,108千円うち市補助831千円　繰越額200千円 繰越額　(H27)197千円 (H28)210千円 (H29)226千円 (H30)200千円 子ども会活動の推進に努め青少年の健全育成に貢献している	３％削減する	321	△ 10
45 ▲	いちき串木野市文化協会運営補助金（社会教育課）	254	郷土文化の伝承、地域文化の高揚、文化団体の連携・親睦を深めるための協会に対する運営補助 主な事業は文化祭芸能発表会、文化交流、音楽のつどい等 H30年度決算　支出総額314千円うち市補助254千円　繰越額40千円 繰越額　(H27)56千円 (H28)40千円 (H29)39千円 (H30)40千円 本市の文化活動を支える基幹団体であり、支援は不可欠である	３％削減する	246	△ 8
46 ▲	いちき串木野市郷土史研究会補助金（社会教育課）	35	本市の郷土資料の収集及び研究に努め、地域文化の向上に寄与することを目的とする研究会に対する運営補助 主な事業は研究発表会、史跡探訪、会誌出版等 H30年度決算　支出総額234千円うち市補助35千円　繰越額244千円 繰越額　(H27)112千円 (H28)148千円 (H29)269千円 (H30)244千円 郷土の歴史・文化の貴重な研究団体であり、継続支援の必要がある	繰越額が多いため補助金を3年間10%3,000円削減する	32	△ 3
47 ▲	羽島史跡顕彰会運営補助金（社会教育課）	35	羽島の郷土資料の収集及び研究に努め、地区文化の向上に寄与することを目的とする顕彰会に対する運営補助 主な事業は黎明祭、歌人萬造寺斉顕彰「墓前祭」、ゴンザ顕彰祭、史跡探訪等 H30年度決算　支出総額240千円うち市補助35千円　繰越額165千円 繰越額　(H27)193千円 (H28)177千円 (H29)160千円 (H30)165千円 郷土の歴史・文化の貴重な研究団体であり、継続支援の必要がある	繰越額が多いため補助金を3年間10%3,000円削減する	32	△ 3

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
48 ▲	郷土芸能保存会運営補助金（社会教育課）	2,640	郷土芸能の踊り及び道具作成の継承・保存活動に対する各保存会への補助（17団体） H30年度決算　支出総額6,280千円うち市補助2,640千円　繰越額837千円 繰越額　(H29)982千円 (H30)837千円 補助金増額の経過 　(H26)1,587千円　(H27～28)2,010千円　(H29)2,490千円　(H30～31)2,640千円 一部の団体で会則及び会費収入がない（会費なし14団体・会費あり3団体） 郷土芸能の存続が年々厳しくなる中で保存・継承のために必要である	３％削減する 収支精算を詳細にする	2,560	△ 80
49 ▲	成人式実行委員会運営補助金（社会教育課）	42	成人式の企画・運営に係る補助 主な事業は成人式のアトラクション H30年度決算　支出総額42千円うち市補助42千円　繰越額0円 繰越額　(H28)0千円　(H29)0千円　(H30)0千円 会則なし 会費収入なし 式典開催のために必要である	３％削減する 会則を定める	40	△ 2
50 ▲	青年団体運営補助金（社会教育課）	190	3青年団に対する運営補助 主な事業は各青年学級、納涼盆踊り大会、ふるさとれいめい塾、恵比寿神社奉納六月燈、本浦地区綱引き大会、本浦寺子屋塾、ファミリークリスマス、若もの隊と語ろう会、マリンビーチフェスタ、クリスマス親睦会、研修旅行等 羽島青年学級の会費は規約では3,000円だが、決算では2,000円になっている H30年度決算　支出総額1,372千円うち市補助190千円　繰越額1,284千円 繰越額　(H28)1,075千円　(H29)1,210千円　(H30)1,284千円 繰越額の内訳 　羽島青年学級　513,355円（市補助50,000円）…10%削減対象 　本浦青年友交会 725,294円（市補助50,000円）…10%削減対象 　市来若者隊　45,453円（市補助90,000円） 　各地域において地域行事への参加や独自の活動を精力的に実施している	繰越額が多い2団体については補助金を3年間10%削減する 市来若者隊は３％削減する 　羽島青年学級　45,000円 　本浦青年友交会45,000円 　市来若者隊　87,000円 羽島青年学級は会費について規約との整合性を図る	177	△ 13

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止　　（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
51 ▲	いちき串木野市スポーツ推進委員協議会補助金（市民スポーツ課）	135	スポーツ推進委員の資質向上、体育・スポーツコミュニティの促進振興を目的とする協議会に対する運営補助 主な活動は研修会及び競技大会、ウォーキング大会等の支援 H30年度決算　支出総額348千円うち市補助135千円　繰越額35千円 繰越額　(H27)29千円　(H28)37千円　(H29)44千円　(H30)35千円 毎月の定例会において活動内容を協議し、地域の社会体育推進に貢献している	3％削減する	130	△5
52 ▲	いちき串木野市スポーツ少年団育成補助金（市民スポーツ課）	270	スポーツ少年団を育成指導する団体に対する運営補助 主な経費は競技大会費及び全国大会・九州大会の旅費、指導者協議会への補助等 H30年度決算　支出総額419千円うち市補助270千円　繰越額94千円 繰越額　(H27)275千円 (H28)294千円 (H29)190千円 (H30)94千円	3％削減する	261	△9
53 ▲	いちき串木野市体育協会運営補助金（市民スポーツ課）	2,241	本市のスポーツを振興し、市民の体力及び競技力の向上を図る協会に対する運営補助 主な事業は市民体育大会、地区対抗駅伝競走大会等 H30年度決算　支出総額4,193千円うち市補助2,241千円　繰越額424千円 繰越額　(H27)450円 (H28)468千円 (H29)465千円 (H30)424千円	3％削減する	2,173	△68
54 ▲	いちき串木野市学校保健会運営補助金（教育委員会総務課）	250	学校保健の振興を図り、幼児、児童生徒並びに職員の健康を保持増進するための保健会に対する運営補助 主な事業は口腔衛生ポスター展、飲酒・薬物乱用防止・禁煙標語展、市学校保健研究協議大会等 H30年度決算　支出総額401千円うち市補助250千円　繰越額220千円 繰越額　(H27)136千円　(H28)100千円　(H29)92千円　(H30)220千円 不登校、いじめ、貧困、児童虐待等子どもを取り巻く環境は厳しさを増し、引き続き支援が必要である	3％削減する	242	△8
55 ▲	いちき串木野市小学校体育連盟運営補助金（教育委員会総務課）	50	児童に広くスポーツの機会を与え、体力・技能の向上を図り、心身ともに健全な児童を育成する連盟に対する運営補助 主な事業は研修会、水泳記録会、陸上記録会、バレーボール大会等 H30年度決算　支出総額88千円うち市補助50千円　繰越額29千円 繰越額　(H27)24千円　(H28)42千円　(H29)38千円　(H30)29千円 子どもの体力や運動をする機会が減少している今日、必要な事業である	3％削減する	48	△2

団体運営補助金の見直し結果

▲削減　●廃止

（千円）

No.	補助金名（担当課）	R元補助	補助金の概要及び課題等	方　針	R2～4年度	影響額
56 ▲	いちき串木野市中学校体育連盟運営補助金（教育委員会総務課）	140	中学生に広くスポーツの機会を与え、体力・技能の向上を図り、心身ともに健全な生徒を育成する連盟に対する運営補助 主な事業は陸上競技、駅伝、サッカー、野球大会等 H30年度決算　支出総額140千円うち市補助140千円　繰越額0千円 繰越額　(H27)439千円　(H28)627千円　(H29)0千円　(H30)0千円 実績報告書が、H28年度は運営費補助として、H29・H30年度は事業費補助として提出されている	３％削減する	135	△ 5
57 ▲	市職員厚生会助成金（総務課）	1,713	市職員の相互共済及び福利増進を図るための補助 職員一人当たり助成月額400円（職員会費800円） 主な事業は人間ドック助成等の厚生会事業 H25年度に市助成金月額500円を400円に20％削減 H30年度決算　支出総額4,153千円うち市補助1,721千円　繰越額1,158千円 繰越額　(H28)345千円　(H29)956千円　(H30)1,158千円 地方公務員法第42条に基づき職員の厚生を図るもの	5％削減する	1,628	△ 85
	合　計　(57補助)	114,087			107,093	△ 6,994